



～目次～

- 病院短信 島村 美郷
- 日常の一コマ 金子 久美
- いきいき看護・介護 桜井 レーナカ
- 相談室だより 広瀬 君子
- 誕生日会（魚釣り大会） デイルームにて
- ジャがいも大収穫 畑にて
- スタッフ紹介 亀山 真央

8月の予定

◇誕生日会

1病棟	8月 4日 (月)
2病棟	8月 5日 (火)
3病棟	8月 8日 (金)
各病棟デイルーム 14:00～	



3病棟 魚釣り大会



これはもしや...おれ?
漁師顔負け!!

たくさんの魚たちを前に釣り糸を垂れる太公望たち。

どんなお魚が釣れるかな? Let's fish!

水の中に入りますよ!
濡れるのは覚悟の上?

ジャがいも大収穫!

Gメンドラマ風に颯爽と歩く長ぐつ6人衆が向かうのは病院隣の農園。春先に植え付けたジャがいもを歴戦のツワモノ達がせっせと掘り出し、気付けば手押し車一杯に!今年も大収穫でした!(^^)!



スタッフ紹介

3病棟 看護師
かめやま まお
亀山 真央

好きな食べ物: チーズ
趣味: ペットのセルフ
トリミング



4月から勤務させていただいています。3病棟の亀山です。緊張しながら初出勤した際に、ロビーに大きなワンちゃんがいた衝撃はいまだに忘れません(笑)。我が家にもワンがいますがサイズの差に驚いたものです。まだまだ未熟者で、いつも病棟の患者様やスタッフの皆さんにはご迷惑ばかりおかけしており、申し訳なく思っています。皆さんの御指導を受けながら、この病院に貢献できるような働きができるよう、これからも努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日常の一コマ

今月は2病棟にご入院の厚子さん(91歳)の一コマです。

厚子さんは新潟県新潟市生まれで9人兄弟の4番目として生まれ、中学卒業後は紡績工場で働き、22歳で結婚し退職、一子をもうけました。結婚後は上京し夫と印刷会社を経営、55歳頃まで働いたそうです。60歳頃より夫の闘病生活の介護をし、厚子さんが76歳の時に夫を亡くし、独居生活となりました。その後徐々に今までと違う行動が見られる様になり、長女宅(洋菓子店)も分からなくなり、店の前を通り過ぎ迷子になることもあったそうです。それからデイサービスやショートステイを利用しましたが、お金の管理も難しく、時間の感覚も分からなくなってしまい、独居生活を続けていくことが難しい為、老健に入所しました。老健入所後は徐々に夜間の覚醒が見られ、他の部屋に入るなどの徘徊、他の入居者とのトラブルなどが増え、令和4年3月に当院に入院されました。

入院当初の厚子さんはスタッフの声かけに時々険しい顔つきや強い口調で返答したり、夜間の不眠もあり「寝たくない」とベッドに座り、急に立ち上がり歩き出そうとしてふらつきも見られ、目が離せない状況でした。寝られない時は声かけをしたり、何度もトイレに付添ったりし、徐々に夜間の不眠も減り落ち着きました。その後は何度も体調を崩し、発熱や食欲の低下などもありましたが、厚子さんの頑張りもあり現在は落ち着いています。



この頃はベッドと車イスの生活ですが、ベッドに居ても車イスに座っていても、スタッフの声かけにニコニコと笑顔で答えてくれる優しい厚子さんは人気者です。

12月になると1階の受付に飾られるかわいいお菓子の家の飾り物は、厚子さんの洋菓子店を営んでいるご家族が届けてくれます。厚子さんに「娘さんご家族が作ってくれたんだよ」と声かけすると「そうなの!？」といったようにニコニコと答えてくれました。この優しい笑顔を絶やさず穏やかに過ごせるように、スタッフ一同で支えていきたいと思っています。

2病棟看護師 金子 久美

病院短信

『ほんの少しの優しさで…』

1病棟看護師長 島村 美郷

今年梅雨もあつという間に終わり、毎日暑い日が続いています。ご家族の皆様も体調管理は万全で、毎日をお過ごしでしょうか?

最初に、セントノア病院では令和5年度からノアスマイルでも何度か紹介していますが、「ユマニチュードの学びと実践」という目標を掲げ、年間計画を立てて研修を行ない学んで来ました。4つの柱の中から3つを重点に行っています。

1. 「見つめる」
患者さんの正面から、視線を合わせる
2. 「話しかける」
声のトーンは、優しく穏やかに
3. 「触れる」
広く・柔らかく・ゆっくり・包み込むように

今年度の目標は、実践編として患者さんの立場になり良いケアが受けられているか、みんなに共有していくように取り組んでいます。私たちの援助で患者さんが安心と信頼により穏やかな入院生活を送れること、ご家族にもセントノア病院を選んで良かったと言っていただけではない毎日をごさいます。

次に、当院ではマスク着用が解除になりました。初めはこれまで職員のマスク姿しか見ていない患者さんは、別人を見るような顔をされています。



でしたが、今では慣れたようです。面会に来られたご家族も顔を出して笑っている光景を目にする気に溢れていました。面会室がいつもより笑い活きました。最後に病棟での嬉しい一コマをお話します。患者さんが昼間過ごされる場所は、デイルームといます。その前にはナースステーションがあり、広いカウンターがあります。私が書き物をしていると、患者さんは前に来て「家に電話して」とか「家に帰りたい」と話しかけられます。ある女性の患者さんは、私の動きや話し方を見ているのか、この人は責任者と思ってくれているのでしょうか?私を「お頭」や「店長」と話しかけて来ます。そういう時は、笑顔で近づいてどうしましたと聞きますが、今では当初の強い口調ではなく照れくさそうな笑顔で「何も」と。面会の時には優しい母になっています。ほんの少しでも目と目が合い、笑顔が交わされたら嬉しいものです。これからも皆様の笑顔が続くように頑張っていきます。

医療相談室 広瀬 君子

相談室 だより

毎日のように猛暑が続き、熱中症警戒アラートが発表されています。一度熱中症になると繰り返すことがあるようなので、こまめに水分補給を行い充分気を付けたいものです。最近は暑熱順化やプレクーリングなどという対応方法を耳にします。

日頃、私たちは目や耳から色々な情報を得ていますが、悲しいかな年齢と共に機能が低下していきます。目が見えにくくなると眼科を受診して、手術や点眼などと積極的に治療をする人が多いなか、耳に関しては「聴こえにくくなってきたけど年だからね」で済ませ、耳鼻科を受診する人は少ないように思います。私とその一人です。耳からの情報が減ると脳が委縮し、認知症になる可能性が高くなると聞いたことがあります。音が聴こえにくくなると事故にあうことも増えるそうです。会話が減り、外出することも減り、うつ症状から認知症に進み易くなるようです。ストレス・疲労・睡眠不足などが原因で難聴になることがあるようなので、認知症予防のためにも自己管理できるよう心掛けたいです。

相談室では、当院について電話での問い合わせや入院相談などたくさんの方々とお話をさせて頂いており、当院開院してから延べ1,609名の方が入院されています。(令和7年7月15日現在) これからもご家族や患者さんの声に耳を傾け、笑顔で過ごしていただけるように、微力ではありますがお役に立てればと思います。

※暑熱順化 → 運動、入浴などで汗をかきやすくする ※プレクーリング → 活動(室内外作業など)前に体温を意図的に下げる



いきいき看護・介護

季節の変わり目に備えておくべき事

1病棟介護員 桜井 レーヌ

季節の変わり目は温度差が激しい日もあり、体調が崩れやすい為、季節の変化に対する備えが重要です。特に高齢者は若い人と比べて体の適応力が低下している為、気温に合わせてこまめに水分補給する事や、服を調節する事が非常に重要です。室内でも気温の変化に注意が必要です。エアコンや冷暖房器具を適切に使う事が健康維持に役立ちます。また、雨が降る際に、急に冷え込みや風が強くなる事があるので、天気予報をチェックする事も大切です。

季節の変わり目は気温の変化が非常に激しいので、患者さんが自分で服を調節する時に私達職員はその手助けをし、くれぐれも責任をもって皆様の身体の管理をする為に、日々頑張っております。

季節の変わり目に体の調子を保つためには、普段のストレスを解消していく事も大切です。気分がイライラしたり落ち込んだりする時は、深呼吸や軽いストレッチをすることでストレスが軽減されます。これらのポイントを押さえて、季節の変わり目も快適に過ごし、元気で楽しい日々を送りましょう。

